



当別

議会だより

No. 92

平成5年6月

発行 当別町議会

編集 議会広報特別委員会



家族総出の農作業(ファミリー農園)

主な内容

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ▷ 議案審議……………2～3 | ▷ 平成5年度予算審議……………6～11 |
| ▷ 請願・陳情……………3～4 | ▷ 予算執行説明に対する質疑……………7 |
| ▷ 平成3年度決算審査報告書……………4～5 | ▷ 一般質問……………12～13 |
| ▷ 常任委員会報告書……………5 | ▷ 議会のうごき……………14 |

本年度いよいよ着手



当別橋上駅舎完成予想図

議 案 審 議

平成五年第二回定例会

総額百五十五億七千九百万円を議決 一般会計予算百一億七百万円

老人保健会計 十八億八千七百万円

国保会計 十三億五千万円

下水道事業会計 十一億百万円

農業集落排水事業会計 五億四千二百百万円

水道事業会計 五億九千二百百万円

第二回定例町議会は、三月十日に招集され会期を十日間と決定し、議案二十四件、議員提案一件をそれぞれ可決し三月十九日閉会しました。

議案第一号 平成四年度当別

町一般会計補正予算(九号)

(原案可決)

〈要旨〉既定の歳入歳出予算の総額に一億五千四百五十一万七千円を増額し、歳入歳出予算総額を九十九億六千六百八十三万円とするもの。

議案第二号 普通河川篠津右

川災害関連事業委託契約の変更について (原案可決)

〈要旨〉普通河川篠津右川災害関連事業の契約金額の変更を行ったもの。

議案第三号 町道青山一番川

沿線道路改良工事請負契約について (原案可決)

○方法 指名競争入札
○金額 四千六百五十五万六千円

○相手方 重原建設㈱

議案第四号 鉄北通道路改良

工事(その二)請負契約について (原案可決)

○方法 指名競争入札
○金額 三千七百三十八万九千円

○相手方 河村工業㈱

議案第五号 白樺公園造成工事(その二)請負契約について (原案可決)

○方法 指名競争入札
○金額 四千七百五十八万六千円

○相手方 宮永建設㈱

議案第六号 白樺公園造成工事(その二)請負契約について (原案可決)

○方法 指名競争入札
○金額 四千五百九十三万八千円

○相手方 北成建設㈱

議案第七号 平成四年度当別町国民健康保険特別会計補正予算(第五号) (原案可決)

〈要旨〉既定の歳入歳出予算の総額に三千二百二十万二千円を減額し、歳入歳出予算総額を十五億四千六百五十八万七千円とするもの。

議案第八号 平成四年度当別町老人保健特別会計補正予算(第二号) (原案可決)

〈要旨〉既定の歳入歳出予算の総額に九千八百七十三万三千円を減額し、歳入歳出予算総額を十八億一千九百八十一万五千円とするもの。

議案第九号 平成四年度当別下水道事業特別会計補正予算(第六号) (原案可決)

〈要旨〉既定の歳入歳出予算の総額に百二万円を減額し、歳入歳出予算総額を十二億九千九百七十九万九千円とするもの。

議案第十号 平成四年度当別町農業集落排水事業特別会計補正予算(第三号)

(原案可決)

〔要旨〕既定の歳入歳出予算の総額に九十三万五千円を減額し歳入歳出予算総額を五億八千六百六十五万四千円とするもの。

議案第十一号 当別町水道事業会計補正予算(第六号)

(原案可決)

〔要旨〕水道事業収益において水道料金等の増額、同支出において修繕費等を減額し、消費税等を増額するもの。また資本的支出において材料費等を減額するもの。

議案第十二号 平成五年度一般会計予算(原案可決)

〔要旨〕別掲

議案第十三号 当別町駐在区設置条例の一部を改正する条例制定について

(原案可決)

〔要旨〕太美駐在区の住民組織が三つに分割されることに伴い、駐在区名を「太美北」、「太美中央」、「南町」に変更し、獅子内駐在区の住民組織が二つに分割されることに伴い、

新たに「スウェーデンヒルズ駐在区」を加え、併せて出張所の所轄区域及び水道事業の給水区域を改正するもの。

議案第十四号 当別町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例及び当別町の休日に関する条例の一部を改正する条例制定について

(原案可決)

〔要旨〕週休二日制を実施するために職員の勤務時間について所要の改正を行うとともに、すべての土曜日を休日とするもの。

議案第十五号 当別町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

(原案可決)

〔要旨〕週休二日制の実施に伴い宿日直手当について所要の改正を行い、併せて管理職手当の額を改正するもの。

議案第十六号 平成五年度当別町国民健康保険特別会計予算(原案可決)

〔要旨〕別掲

議案第十七号 当別町老人保健特別会計予算(原案可決)

〔要旨〕別掲

〔要旨〕別掲

議案第十八号 当別町下水道事業特別会計予算(原案可決)

〔要旨〕別掲

議案第十九号 当別町農業集落排水事業特別会計予算(原案可決)

〔要旨〕別掲

議案第二十号 平成五年度当別町水道事業会計予算(原案可決)

〔要旨〕別掲

議案第二十一号 監査委員条例の一部を改正する条例制定について(原案可決)

〔要旨〕現金出納の検査の例日について改正し、併せて字句の整備を行うもの。

議案第二十二号 当別町立養護老人ホーム長寿園設置条例の一部を改正する条例制定について(原案可決)

〔要旨〕老人福祉法の一部改正に伴い所要の改正を行うもの。

議案第二十三号 当別町水田農業確立対策推進事業基金条例を廃止する条例制定について(原案可決)

〔要旨〕水田農業確立対策推進事業が平成五年三月三十一日をもって終了するため、条例

を廃止するもの。

議案第二十四号 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例制定について(原案可決)

〔要旨〕地方自治法施行令の一部改正に伴う所要の改正を行うため、条例の一部を改正するもの。

議員提案第一号 北海道新幹線の早期着工に関する意見書の提出について(原案可決)

〔審査中間報告〕
(文教厚生常任委員会)

太美地区農業集落排水事業並びに農村モデル排水管的修理に関する陳情書

※継続審査

陳情者 当別町太美町内会
会長 小寺 和昭



請願・陳情
第二回定例会

他三十二名

〔本会議採択〕

▼コメなど農畜産物輸入自由化に対して国会決議遵守と政府の統一対応を求める請願書

※採択

請願団体 当別地区労働組合協議会
議長 中村 一治
紹介議員 宮本 勝

※採択

▼「中小企業勤労者・パート福祉共済センター」と「北海道中小・パートタイム労働者退職金共済事業支援制度」の創設を求める請願書

請願団体 「93春季生活闘争石狩地域連絡会代表委員」
連合北海道石狩地域協議会
議長 田中 宏佳

当別地区労働組合協議会
議長 中村 一治
紹介議員 宮本 勝
村上 弘志

※継続審査

▼大型サラリーマン減税実現に向けた大規模な所得減税・政策減税を求める請願書
請願団体

〔93春季生活闘争石狩地域連絡会代表委員〕

連合北海道石狩地域協議会

議長 田中 宏佳

当別地区労働組合協議会

議長 中村 一治

紹介議員 宮本 勝

村上 弘志

▼国民の祝日「海の日」制定に関する請願書

請願団体

〔93春季生活闘争石狩地域連絡会代表委員〕

連合北海道石狩地域協議会

議長 田中 宏佳

当別地区労働組合協議会

議長 中村 一治

紹介議員 宮本 勝

村上 弘志

▼コメ輸入自由化を断じて許さず当別町の農業を守るための請願書

請願団体

当別町農民同盟

委員長 野村 重蔵

勤医協当別社員支部

支部長 桧山 喜三

紹介議員 堀 梅治

柏樹 正

※尚、意見書については、総理大臣ほか関係大臣、関係

国会議員宛送付した。

【継続審査】

〔総務常任委員会〕

○ゴルフ場建設に反対する陳情書

○上当別地区丘陵地利用に関

する陳情書

○当別大通の整備促進に対する陳情書

〔建設常任委員会〕

○陳情書（高岡一号線改良舗装工事の件について）

〔文教厚生常任委員会〕

○太美地区農業集落排水事業並びに農村モデル排水の修理に関する陳情書

平成三年度各会計決算審査特別委員会報告書

平成三年度当別町一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計決算について平成五年一月二十

六日、二十七日、二十八日、三十日、二月三日の五日間にわたり慎重審査の結果、次の意見を付して認定することと適当と認めた。

一・一般会計

（一）黒字決算について

平成三年度における本町一般会計の決算額は、歳入総額九十一億三十一万一千

七十六円、歳出総額九十億二千六百六十六万九百八十四

円で差引すると七千八百六十五万九千二百円の黒字決算

となっているが、本町の財

政状況は、依然厳しく今後

もより効果的な予算の編成と執行に努められたい。

（二）歳入について

収入率は前年度より○・七ポイント上昇しているが

収入未済額は増加している。

町税における収入未済は依然として高額であるので、納税に対する住民意識

の向上、滞納整理及び課税客体の的確な把握に努められたい。

（三）歳出について

（イ）街路灯設置基準について

町道認定時、又、開発行為に於ても街路灯設置に当たっては設置基準を持つて指導に当たるべきである。

尚、当別町街路灯維持費

助成規則により電気料金の七〇％の助成をし、又、街路灯新設及び改良補助金は交付規則に基づき五〇％を補助しているが、助成金補助金額は地域自治会等の財政問題もあり、より一層配慮に努められたい。

（イ）墓地の整備について

町内に十二カ所の墓地があるが、特に住民要望の高い東裏墓地の残りについては十五区画となっており、今後東裏墓地の区画増を含めた年次計画を早急にたて、その対応をすべきである。

（ウ）コンピューターの有効利用について

庁内に於て、各種コンピューターが利用されているが、多様なニーズに

ため機種を選定、容量等十分に検討し、行政執行に於ても効率的運用をはかり、有効活用を努められたい。

（エ）公有財産について

教員住宅は計画的に新築されているが、ここ数年間空家となっている住宅もあり教員の持ち家、通勤事情の改善等による未入居理由も理解できるが、児童、生徒との教室外でのふれあいも教育的観点から重要であり、教員の地元定住に配慮されたい。

二・国民健康保険特別会計

本会計は実質収支において二千七十五万九千円の赤字決算となっている。

保険税収入未済額は、八千七百二十三万円余りと依然と高額であり、国保税の持つ意義等について被保険者の理解を求め滞納額の減少に鋭意努力されたい。

三・老人保健特別会計

本特別会計は実質収支に於て、一千二百三十五万一千円の黒字決算となっている。今後、益々高齢者人口の増加に伴い、医療費の増



当別町助役 伊達寿之氏退任

平成五年第二回定例町議会に於て退任の表明がなされました。

同氏は昭和二十三年に役場勤務以来、企画調整部長、民生部長、議会事務局長、収入役、平成三年から助役を歴任し、一身上の都合により三月三十一日付を以て退任されました。

加も十分予測されるので保険意識の向上、老人福祉の推進に努められたい。

四・下水道事業特別会計

本事業会計は実質収支に於て、一千六十九万九千円の黒字決算となっている。

供用開始から六年を経過し水洗化が着々と進められているが、今後共水洗化普及に全力を投入されたい。

五・農業集落排水事業特別会計

本事業会計は実質収支に於て、百十九万八千円の黒字決算となっている。

本事業は、地域の環境保全上重要と考慮される事か

ら、今後とも事業の円滑な推進を図られるよう配慮されたい。

六・水道事業会計

本会計は、収益的収入四億四千四百八十一万五円、支出四億二千四百四十五万九千七百三十四円であり、

当年度純利益は二千三十五万二千七百一十一円となり、繰

越利益剰余金も三千二百二十六万八千八百四十六円となっており、一定の評価が

出来るが、更に一層の企業努力を求められたい。

尚、配水量に対する有収率は七五・五％と前年に対して低下しているため、更に

漏水対策に努力し、有収率の向上を図られたい。

以上の通り報告したが、

今後理事者をはじめ各職員に於て、各部の連携と事務

的資質の向上に努め、町民の期待に沿うよう研鑽されたい。

以上、本委員会の報告とする。

平成五年二月三日

議長 宮本源之丞殿

平成三年度各会計

決算審査特別委員会

委員長 宮本 勝

第二回定例会常任委員会報告書

【文教厚生常任委員会】

本委員会に審査付託された陳情について、平成四年十一月三十日、平成五年二月四日、二月二十三日、三月四日委員会を開催し、町長、助役、担当部課長の出席を求め説明を聴取し、慎重審査の結果次の通り報告する。

記

○太美地区農業集落排水事業並びに農村モデル排水管的の修理に関する陳情書

一、受益者分担金の事前説明について

昭和六十四年度新規採択希望の農業集落排水事業計画概要によると、昭和六十一年十一月二十八日太美町自治区長

らない様に思慮される。

尚、今年度に入り、十月二十五日・二十六日の二日間説明会が開催されているところである。

陳情要旨にある事前説明で、一部内容において理解を得られない面もあるので、今後とも理解を得るよう配慮されたい。

二、管路の関係について

カメラ調査の結果では調査延長が、二千六百メートルの内改修を要する路線が八百十メートルになっている。

その改修費については補助対象となるよう理事者は最善の努力をされたい。

尚、陳情案件については継続審議とする。

以上、本委員会の中間報告とする。

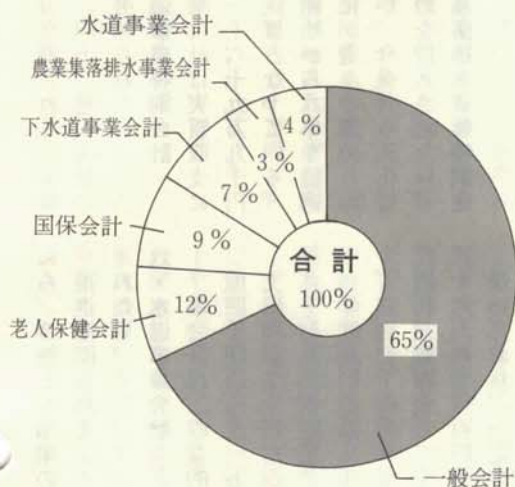
平成五年三月四日

議長 宮本源之丞殿

委員長 小武 正寿



平成 5 年度予算構成比



≪平成 5 年度予算を可決 予算総額155億7,900万円

・一般会計	101億700万円	・下水道事業会計	11億100万円
・老人保健会計	18億8,700万円	・農業集落排水事業会計	5億4,200万円
・国保会計	13億5,000万円	・水道事業会計	5億9,200万円

○対前年比伸率……総 額 10.4%増
 一般会計 19.9%増

○主なもの

1. 生活環境整備 46億6,666万3千円
2. 産業振興 7億1,490万3千円
3. 保健・福祉 15億1,155万7千円
4. 教育・文化・スポーツ 11億9,344万1千円
5. 国際交流と地域振興 1億874万1千円

平成 5 年度各会計予算審査特別委員会

委員長 谷保 茂一議員
 副委員長 村上 弘志議員
 報告書起草委員
 小武議員・田畑議員
 菊崎議員・保谷議員
 安栄議員

委員名は質問順

主な質疑内容

委員名は質問順

議 会 費

千葉委員

質 海外研修の基準、研修場所は。又、職員旅費が未計上だが。

答 道議長会主催の研修を原則とし、今年は欧州方面である。職員旅費は計上していない。

総 務 費

柏樹、千葉、小武、堀
 川村、湯浅
 各委員

質 中央バスへき地運行補助

町長から提出された平成 5 年度各会計予算は、関連議案と共に三月十日本会議に上提され、提案理由説明後、全議員が構成する予算審査特別委員会に付託され、十九日金の内容は

（十三、十四、十八日休会）で審査し、その結果、各項目にわたり意見を付し、原案の通り可決すべきものと決定、十九日の本会議に報告され、可決した。

金の内容は

質 青山線は赤字が年々増額し、以前から廃止の申し出がある。協議の結果四百万円の補助で、平成六年三月迄の継続運行の確約を得ている。

質 青山線の廃止の申し出とは、権利の放棄か。

答 中央バスは権利の放棄と申している。

質 明年度以降、青山線バス運行の基本的な考え方は。

答 平成六年四月以降の運行は、町営で直営、委託を検討し、住民に支障のない運行の確保に努めたい。

質 人材育成基金の報償金と推進事業の内容は。

答 国内外の研修、交流事業等に対する助成事業で、推進委員会委員民間人三名の報償

質 この事業の決定権は、推進委員会にあるのか。

答 町長に申請あったものを推進委員会でも内容を審査し、町長が決定する。

質 身障者に配慮した、役場駐車場スペースの表示が必要でないか。

答 指摘のあった方向で区画の確保をしたい。

質 駐在員、嘱託職員で、地方選挙に係る特定候補の、後援会活動及び役員就任は可能か。

答 公職選挙法上、公務員と判断され、その地位を利用した選挙運動は出来ないが、その見解は複雑で、選挙運動可否かの認定は、行為の名目のみならず、時期、場所、方法を総合的に判断する事が求

予算執行説明に対する質疑

今議会の冒頭、配野定平町長は、任期、三期を区切りに退任の意を表明し所信表明に変え町長、教育長の平成五年度、予算執行説明が行われ、二委員による、質疑が行われました。

堀委員

J R高架の問題が議論されており、石狩川鉄橋も含め電化、複線化にふさわしい当別駅舎の計画なのか。又、学園都市線については、特別委員会等、議会の対応も考えなければいけないと考えている。

町 長

札幌市で「あかづの踏切」等の解消の為、整備したいとの事である。石狩川鉄橋の件は、石狩開発建設部から来年当たり工事着工されると言う情報を得ており、本町の駅に於ても電化・複線化の運動を進めると共に、それにふさわしい駅舎を考えている。

堀委員

学校給食の位置づけとして今後の展望はどこに着地点を置くのか、又、供用開始の時期を明確にすべきでないか。

教育長

本年度、設計委託費を計上している。

今後、給食センターの運営維持、直営・委託内容、調理関係職員の厚生問題等について十分検討し、早期実現に努力したい。

堀委員

当別町第3次総合計画の中にある。人口増の分布の兼ね合いで木造校舎解消の考え方をお伺いしたい。

教育長

大きな教育課題として老朽校舎の解消を考えている。問題として、学校統合の関係もあり、地域の方々の理解を得、解決の為努力したい。

堀委員

駅舎の考えは理解したが、学校給食で着地点のない委託費は議会審議に無理がある。予算審議の中で更に論議を深めたい。

青山委員

道民の森がらみ、当別ダムがらみで道が企業誘致等当別町に示した一連のものがある。今後、どのような形でその働きかけをしようとしているのか。

町 長

道の企業誘致が進まない理由として、ダム上流に企業とかゴルフ場建設の問題があり、町はその解決の為奔走しているが、現況を訴え、更なる陳情を重ね早期に解決したい。

民 生 費

宮本(勝)、保谷、千葉、

柏樹、島田

各委員

められ、支庁からも即答は出
来ない旨、指導を受けている。
質 法律上の見解を文書で通
知する考えがあるか。
答 非常勤の公務員としての
自覚に立ち、住民が不信を抱
く行動のない様、更に会議及び
書類で指導をしていきたい。

質 老人福祉施設措置費の内
容は。

答 町村の権限委譲に伴い老
人ホームに入所する人達の、
費用の支弁額であり、費用負
担は、国 $\frac{1}{2}$ 、道、及び町が各
 $\frac{1}{4}$ である。

質 老人保健福祉計画基礎調
査委託の内容は。

答 平成十一年度までの福祉
計画を策定する調査委託であ
る。

質 人口増に伴う西当別保育
所の予算措置及び考え方は。

答 申込み時点では定員を満

たしておらず、運営費の措置
をしているが、今後あらゆる
角度から検討したい。

質 低年齢児の入所は満たさ
れていると解釈して良いか。

答 へき地保育所の要綱は、
三歳以上からで〇歳児からの
受入れは出来ない。

質 車の保守管理委託、諸車
借上げは何業者で。

決定方法は。

答 北成自動車(株)と(有)下段
モータースであり、二社で見
積合わせをしたい。

質 社会福祉協議会に対する

補助基準は。

答 人件費と事業費を基本に
決定している。

質 老人福祉計画協議会の協
議期間、及び構成メンバーは。

答 平成五年四月一日から平
成六年三月三十一日迄である。

保健所、医師会、社協、民
協、老人クラブ連合会、特養
ホーム、老人保健施設、ボラ
ンティア協会である。

質 養護老人ホームの管理委
託の内容は。

答 日直業務の外部委託費で
ある。

質 防油提設置工事の内容は。

答 火災予防条例に基づく指
導を受け、タンクと同容積の
コンクリート柵を作るもので
ある。

質 同じ状態の町有財産はあ
るか。

答 現在のところ該当施設は
ない。

質 身体障害者更生援護施設
措置費の基準は。

答 施設毎に一率単価でなく
道の算出データーにより予算
計上した。

質 週休二日制に伴う保母の

配置計画は。

答 職員のフリー体制を二名とし、その補充として臨時職員で対応したい。

配置計画は現在取り進めている。

質 寝たきり老人等入浴サービス事業と、短期入所事業の委託料が、昨年に比大幅に上昇しているが。

答 両事業共、利用者が増加しこれを考慮し予算計上した。

質 入浴サービス事業額の内訳は。

衛生費

湯浅、宮本(勝)
各委員

質 東裏墓地に公衆トイレ設置の考えはないか。

答 定期的に臨時トイレで対応して来たが、公園的要素もあり、恒久的トイレとして検討したい。

質 エキノコックス症の健康

診断の状況は。

答 年二回実施しており、対象者に直接通知した結果、昨年から見ると三倍の受診者数である。

職員費

柏樹、堀各委員

質 時間外手当が前年度比三・六八%の増だが、週休二日制に伴う時間増か。又、臨時職員の配置対応は。

答 ベース改定に伴うものである。

週休二日制に伴う職員配置は、町有牧野、保育所等で臨時職員を確保し、幼稚園は夏、冬休みのまとめ取りを行う。又、各種施設の日直は賃金対応で現在検討している。

質 生理休暇の取得日数が少ないが、有給休暇で処理している認識しているか。

答 有給休暇以外の、特別休暇であり、取り易い環境に努めたい。

質 全ての部署で週休二日制が確保されると理解して良

なる事はないか。

答 検討委員会としては、可能と考えており、年休も従来通り取れると判断している。

質 職員費に臨時職員賃金を計上しない理由は。

答 賃金は単に雇用契約によるもので、各款に計上しているが、課題として検討したい。

公債費

堀、柏樹各委員

質 公債比率の動きは。

答 平成五年度一六・五%、過去三年平均は一五・七%である。

質 自治省見解では、公債比率の危機ラインは一五%と判断されて来た。予算編成に当たり指導された経緯は。

答 交付税算入部分を除く起債制限比率は、一三・八%、過去三年平均で平成五年度は一四%である。国、道からの指導はない。

土木費

村上、堀、柏樹、
千葉、小林
各委員

質 都市計画基礎調査委託の内容は。

答 都市計画法の改正に伴う用途地域見直しの為、住宅戸数建物の用途等の調査である。

質 当別大通路周辺整備現況調査の内容は。

答 地元からB調査の要請があり、現況を把握する為の、土地、建物、権利関係等の調査である。

質 答弁は不要だが、陳情書に添付された同意書と、陳情書の関わりがない事を精査しておいて頂きたい。

質 当別駅周辺整備事業の委託料と負担金の内容は。

答 委託料は当別駅舎橋上化に伴う自由通路の建設部分であり、負担金は当別駅舎本体部分の一部である。

質 当別駅周辺整備の年次計画は。

答 アクセス道路は平成四年から六年。

自由通路と橋上駅は、平成五年、六年、駐輪場、駐車場、駅南北広場は、平成七年、八年の計画である。

質 駅北広場に駐車場がない理由は。

答 用地確保が非常に困難であるが、十分検討したい。

質 駅南広場の駐輪場、駐車場が一体化しており、交通安全上危険である。又、駐輪場が駅東西にあれば便利と思うが。

答 管理面及び、用地確保もむずかしいが十分検討したい。

質 建築確認許可前に着工されている建物があるが、町の対応は。

答 道との委託契約により確認業務の処理日数に、約七日間要している。

早期に許可交付が出来る、限定特定行政庁の指定を受けられるよう検討したい。

尚、違反業者には厳正に対応したい。

質 春日団地建替計画に係る用地購入面積は。

答 六千五百平方メートルを予定している。

商 工 費

小武、柏樹各委員

質 工業団地について、将来拡大の計画はあるか。又、地形測量後の計画は。

答 当面、第三次総合計画に基づき、計画を立て進めたい。拡大の計画は、その後の計画となる。

質 地権者数、及び、用地区域の決定理由は。

答 六十五名おり、一部の人には説明している。又、区域は、改良区の使用排水を考慮し決めた。

農林水産業費

村上、堀各委員

質 二十一世紀村づくり塾負担金の内容は。

答 農業改善事業の実施に当たり、この塾に加入し、推進事業等の研修を行うものである。質 二十一世紀型モデルほ場

整備は、将来的にどの程度まで拡大するのか。

答 土地改良総合整備事業の採択の条件として、二十一世紀型事業を現時点でセットにしているが、更に必要性が生じた場合は、実施したい。

質 実施要綱上の目標年次は。答 川下地区は、平成十年、川下二期地区、東裏中央地区は平成十一年である。

質 この事業が採択になった場合の農家負担額は。

答 総事業費十七億九千万円の内、受益者負担額は、四億四千七百七十五万円で、二十一世紀型整備事業で実施すると、更に総事業費の一〇％の軽減がある。

質 答弁は不要だが、土地を集積する事業であり、離農者が続出する懸念がある。慎重にそして良く周知して欲しい。

国民健康保険特別会計

宮本(勝)、柏樹各委員

質 滞納繰越分の収納率として、国民健康保険税一五％、町税二〇％である。その差異

は。

答 収納率はそれぞれ過去三年の実績で推計している。質 国民健康保険税の限度額アップは抑えるべきであると考えているが。

答 平成五年度については、限度額の引上げはしない。

質 人間ドック等、予防疾病のPRは。

答 人間ドック等の補助の引上げ等を行い各種健診を通じPRしたい。

水道事業特別会計

小林、千葉各委員

質 二千三百万円の未収金の回収方法は。

答 翌月検針の為、一カ月遅れの収入になる。

この分を未収金計上しているが督促等により未納はない。

質 設計審査、竣工検査手数料は、江別市、石狩町と比較し高いのか。

答 工事額に対し徴収しており、工事によって高い、安いと言う場合もある。質 江別市、石狩町は水道料

金に消費税は賦課しているのか。

答 両市町とも消費税を転嫁している。

一般会計歳入

柏樹、宮本(勝)、堀各委員

質 国庫補助金等の一般財源化がどの様に反映されているか。

答 一例としては、権限委譲に伴う、社会福祉費の六千五百万円増が見込める。

質 ゴルフ場利用税交付金が減少になっているが、減少利用者数の積算は。

答 昨年比約四千八百人の減で約六百七十五万円の減額が見込まれる。

質 各ゴルフ場の年間利用者数は。

答 平成四年度でグリーンヒルは四万六千人、大札幌は三万二千七十六人、石狩平原二万九千七百六十七人、ハッピーバレーは三万六千四百八十八人、計十三万八千三百三十七人である。

質 消費譲与税の性格は。

答 宿泊施設等が該当し、特別地方消費税額の $\frac{1}{2}$ が、町等に交付される。

質 西当別小学校増築による超過負担額は。

答 単価差として、約九千五百万円が超過負担額になるが、更に約一億二千万円のグレードアップ等の額を計上している。

教育費

村上、千葉、堀
柏樹、宮本(勝)
各委員

質 小学校費の指導書、教科書が、昨年比 $\frac{1}{2}$ になっているが。

答 平成四年度からの新指導要綱により、小学校は平成四年に買い替えが済んでおり、平成五年は中学校が買い替えになる。

質 南部小学校の統合についての考え方は。

答 地域が将来大きく変わって来る事も見極め、地域の方々に理解を更に深めて頂く

様努力したい。

質 各中学校の劇薬、毒物の保管状況は。

答 各中学校の専用保管庫、薬品庫に三重の施設をし、カギは教頭、又は教務主任が管理している。

質 教員住宅、町営住宅の車庫証明はどこで発行しているか。

答 車の所有者と地主が話しをし、地主が出している。

教員住宅の駐車場の管理等については、町営住宅との整合性を図りたい。

質 教員住宅等のトイレの水洗化の考えは。

答 東裏、蔵岱、川下の各小学校が未改修のため、速やかに検討したい。

質 浄化槽、簡易水洗、一基の値段は。

答 平成四年度に弁ヶ別、小屋小学校で対応したが、六百万円から七百五十万円である。

総括質疑

村上、柏樹、堀
各委員

質 週休二日制に当たって現在でも、平均年休取得日数は、九日間しかない

年休消化の方策とその認識は。

答 従前から年休の申し出は認める姿勢を取っているが、

より良い職場環境を作る為、今後も検討委員会等で審議検討を続けたい。

質 学校給食は何年度から実施するのか。

答 可能な限り事業を進捗させる努力を重ねたい。

質 学校給食の今後の取り扱い。

答 給食センター運営維持体制の確立と、各学校の受入れ施設整備を進めたい。

平成五年度当別町各会計 予算審査特別委員会報告書

記

平成五年度当別町一般会計、老人保健特別会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計予算及び関連議案の審査について、平成五年三月十日、十一日、十二日、十五日、十六日、十七日、十八日、十九日の八日間に行われ、慎重審査の結果、次の意見を付しているが、原案の通り可決すべきものと決定した。

国の経済が引き続き低迷し、資産価格の下落もあって厳しい状況に直面しているなど、を反映し、地方税収入等は法人関係税の落ち込みなどにより、その比率が鈍化すると見込まれるので、地方財政の運営に当たっては、今後の経済動向を的確に把握する必要性を国は訴えている。

本町に於ては、引き続き第三次総合計画に添いながら行

政の簡素効率化と経費の節減に努め、限られた財源の中で将来展望の実現に向けた重要な政策課題が山積しており、理事者は今後国に対して、地方交付税、補助金の問題等について町村会の組織を通して、一層強力に要請されたい。

一般会計

(一) 歳入について

歳入総体については、前年度一九・九%の伸びとなっている。

町債が歳入に占める割合は、一七・五%となっており、今後良質資金の借入に努力されたい。又、自主財源である町税については的確な課税客体の把握に努め、収納率の向上に努力されたい。

又、町税等の滞納にかかる徴収事務については、税負担の公平化を期するため努力されているところであるが、更に厳正な態度で臨み収納率の向上に努力されたい。

(二) 歳出について

前年度より一九・九%の伸びとなり、この主なものは、社会資本整備を重点に町民に密接に関連する事業であり、

この執行に当たっては、時代の変化を見据えて町民の負託に充分応えるよう、効率的かつ的確な事務処理に向けて最善の努力をされたい。

イ、総務費関係

・中央バス青山線の運行については、本年度限りとなっているが、今後、直営運行、委託運行等を十分に検討し、地域住民の交通機関の確保に努められたい。

・町長の任命権管轄下職員に対しては常に住民に対し、公平・中立の原則を指導徹底されたい。

ロ、公債費関係

・事業が年々増大している現在、公債費が増加傾向にあるが、今後十分その対応に配慮されたい。

ハ、職員費関係

・職員の週休二日制については、住民サービス低下につながらない適切な行政執行に努められたい。

ニ、民生費関係

・本年度から道より福祉施設の入所決定権についての一部権限委譲がなされているが、この業務執行に当たっては住民

対応に支障のない様配慮されたい。

ホ、農林水産業費関係

・二十一世紀型水田農業モデルほ場整備促進事業については、将来展望を踏まえ、関係機関等と十分協議を重ね事業推進に当らねたい。

へ、商工費関係

・工業団地調査測量をすみやかに終え、早急に基本計画を樹立し、地場産業の振興と経済的波及効果の高い企業誘致に努力されたい。

ト、土木費関係

・当別駅周辺整備促進事業については、駅舎北側の駐車場を含め、利用者の利便と交通安全性を十分考慮し、事業推進に当らねたい。

・建築確認事務執行については、遅滞なく処理し、その適正執行についての指導を徹底し、今後、限定特定行政庁の認定等をすみやかに進められたい。

チ、教育費関係

・学校、教育住宅の水洗化については、不公平のない生活環境向上に務められたい。

・学校給食問題については、

早期実施に向け最善の努力をされたい。

・学校統合問題について、今後とも地域の開発状況を踏まえて推進されたい。

老人保健特別会計

本特別会計は、前年度当初予算に對比して〇・七%減の十八億八千七百万円となっている。

これは、老人医療費の適正化対策のあらわれであると評価できるので、今後とも、保健意識の高揚を図るとともに、適正な運営により老人福祉の増進について努力されたい。

国民健康保険特別会計

本特別会計は、十三億五千万円で前年度当初予算に對比して八・九%、金額にして一億三百万円の減となっている。

これは疾病の早期発見、早期治療等予防事業に努力された結果であり、評価するものである。

尚、国民健康保険事業の運営は非常に厳しいものがあるが、税は会計の基本をなすものであり、税収の確保には一層の努力を図られたい。
下水道事業特別会計

本特別会計の予算は前年度当初予算に對比して、八・九%の減となっている。

この予算の主なもの、管渠布設工事と終末処理場の増設となっている。

供用開始以来、住民の協力により現在の水洗化率は、七五・五%で順調な伸びを示しているが、尚一層の普及促進に努力し、快適な生活環境づくりに努められたい。

農業集落排水事業特別会計

本特別会計は、前年度対比九%増となっている。

この内、主として建設費の予算であるが、事業推進に向け適切な運営と生活環境の向上に努力されたい。

水道事業会計

本会計は、収益的収支で当年度純損失が千百十六万円であり、資本的収支に於いても一億一千六百八十四万円の不足となっている。

収益的予算では給水収益水道管移設保障金、及び一般会計繰入金で、又、資本的予算に於ては企業債、一般会計出資金及び過年度分損益勘定留保資金等で補填している。

本年度も更に、老朽管の整備を図り、有収率の向上と財政健全化のため努力されたい。

以上の通り報告したが、今後理事者をはじめ各職員に於いて各部の連携と事務的資質の向上に努め、町民の期待に

第三回臨時会

H5・5・24

報告第一号 専決処分承認

を求めることについて（当別町税条例の一部を改正する条例）（原案承認）

報告第二号 専決処分の承認を求めることについて（当別町都市計画税条例の一部を改正する条例）（原案承認）

報告第三号 専決処分の承認を求めることについて（平成四年度当別町一般会計補正予算（第十号））（原案承認）

（原案承認）

報告第四号 専決処分の承認を求めることについて（平成四年度当別町一般会計補正予算（第十号））（原案承認）

報告第五号 専決処分の承認を求めることについて（平成四年度当別町一般会計補正予算（第十号））（原案承認）

報告第六号 専決処分の承認を求めることについて（平成四年度当別町一般会計補正予算（第十号））（原案承認）

（原案承認）

報告第七号 専決処分の承認を求めることについて（平成四年度当別町一般会計補正予算（第十号））（原案承認）

沿うよう研鑽されたい。
以上、本委員会の報告とする。

平成五年三月十九日

議長 宮本源之丞殿
委員長 谷保 茂一

財源更正、減債基金積立金の増額等について補正するもの。

議案第一号 町道青山一番川沿線道路改良工事請負契約について（原案可決）

議案第二号 町道スウェーデン大通線道路改良工事請負契約について（原案可決）

議案第三号 町道スウェーデン大通線道路改良工事請負契約について（原案可決）

議案第四号 町道スウェーデン大通線道路改良工事請負契約について（原案可決）



第 2 回定例会

一 般 質 問

1 議員が登壇

今議会の一般質問には一名の議員が登壇町長の政治姿勢、J R 学園都市線に係る整備計画・挽曳雄馬の放牧について理事者の考えをたできました。

一党一派に偏さない

政治姿勢を貫き何を得たか

堀 梅治議員

今、日本は自民党政治の中で大きな政治腐敗が噴出しており、どの新聞を見ても金丸、生原秘書の記事が掲載されていないものはない。

私は日本の政治の中で汚職、腐敗が国民に政治不信として、浸透している状態はかつてなかったと考えている。今までもあった事が氷山の

一角として出たに過ぎないと言ふ考えもあるようだが、自民党政治の本来の姿が浮き彫りになった感じがしてならない。それが数十億円の単価で、その資金の大部分が政治献金、裏献金でないかとさえ報道されている。

そして、その土壌が企業献金、団体献金にあると言う事

を、今さらの様に考えざるを得ない訳であるが、町長も今の新聞の状況をどのように受け止め、残された数カ月間の町政にどんな教訓を胸に抱かれ臨もうとしているのかお伺いしたい。又、「政治に腐敗はつきもの」これは企業献金、団体献金のそう言った構造から出ていると言ふ、私の考え方からすれば、町長はその事についてどんなふうにお受け止められるのかお聞きしたいと思います。

次に、町長が一党一派に偏しない政治姿勢を貫かれて、十二年たつ訳であるが、私自身、日本共産党に昭和三十年に入党し、それがともすれば農協の組合員になったり、政治的な動きの構造の中に身を置いたり又、町内会等いろいろな団体に所属している。そこで常に言われる事は「共産党がその中にいる」「一党一派に偏しない中には、共産党を容認している」であった。かつては、ソビエトの言いなりの、手先の共産党の様に言われ、今、私は議員生活二十六年を迎えているが、町会議員に出た時に言われた事は、共産党の町会議員が出たら当別は大変な事になると言つた声を聞かされた。

しかし、私は議会で暴力を振つた事もないし、町政に大きな迷惑をかけたつもりもないと考えている。

町民の立場に立つて「町内の除雪をしなさい」「福祉を充実しなさい」「お年寄りを大切にしなさい」と言つた事を叫んで来た訳である。

そう言う中で、ソビエトや中国の党の例を引き合いに出し、陰で様々な中傷、誹謗があった事も承知している。

今まで私自身に又、日本共産党に攻撃をかけて来た、ソビエトの言いなり、中国の言いなりと言ふ言葉に、日本共産党は最も強く戦つて来た。外国のどの党にも影響を受けない政党として、私は誇りを持っていく訳であるが、町民の立場に立つて本当に働く者の為に、声を大にして、身を粉にして不正に参加する事なく活動する事が私の政党の本来の姿だと思っている。

町長の一党一派に偏しないと言ふ姿勢こそが、日本の民主主義の立場に立つた、首長としては当然とるべき態度だったと評価しているが、町長自身は、そこからどんな教訓を学び、その教訓の上に立つて、もし町長の一党一派に偏しない、清潔な政治姿勢を提唱し、町政を受け継ぐ町長候補が出来た時に、どう思ふのか見解をお伺いしたい。

次に、任期一杯、残された四カ月をどのような姿勢で臨もうとしているのか。

町政に空間を作つてはならないと言ふ立場から、予算そのものも骨格予算とはしてい

電化・複線化が望まれる
学園都市線



ない訳である。

先日、国保運営協議会で、札幌に一泊した時に、私は丹前姿で朝食をとり、支度をして出て行こうと考えていたが、町長はネクタイ姿で、食堂に向うところであった。

「町長、服装を着けて行くんですか」と「今日は平日だよ。丹前姿で朝食をとる程、だらけておられないんだ」と言うお話を聞き、町長の行政に対する姿勢として大きな教訓を学んだところである。

この四カ月間、そう言う姿勢を貫いて、厳しい姿勢で臨もうとしている事は、その事

でも理解しているが、あえて、町長の四カ月間の決意をお伺いしておきたい。

学園都市線について、かつてリフレッシュしようべつにJRの問題が載っていないと言う事で問題提起した事があるが、昨今の新聞報道によると、学園都市線の整備強化の問題が、札幌で急速に進んでいる様である。総括質問でも、今度出来る当別駅舎の構造が、新しい学園都市線の発展構想にマッチするものかとの質問に対し、町長答弁ではマッチする構造であるとの事であるが、町長自身は勇退されても、当別町は永遠に残って行く訳で、札幌市が計画している学園都市線の構想に、当別の期待と願望をいかに反映して行くかとの点では、かつて私が確か、一期目の時に、道央縦貫道路の国道三三七号を四号に早期実現する為の陳情書が、住民から出され、二期目に札幌大橋の促進特別委員会が設置され、今、ようやく橋が出来、十六線までの道路に手がつけられている状況である。これは、一つの大きな構想

を実現する為には、何十年と言う歴史が必要であり、その意味では、学園都市線をこの当別に通し、沼田まで進めた先人の労苦に、今さらながら頭の下がる思いである。

学園都市線の充実強化を深刻に議論する場が必要であり、町長が一定の時期に特別委員会を要請し、当別町挙げて、この問題の議論をし、運動も行う方向を考えたら良いのではないか、見解をお伺いしたい。

次に、挽曳の馬を飼育している農家が数多くおられる様で、その人達のお話を聞くと、雄の馬が生まれても、秋まで親につけている間は飼う事が出来るが、二歳の雄馬を放牧する牧場を所有していないと、北海道の何カ所かの牧場に売られて行く現状にある。又、二歳の暮れになって、当別の人が挽曳に適した馬を買って、血統書を見たら当別産の馬だったと言う事が多いそうである。

当別に、雄馬を放牧する牧場が出来ないかと要望があり、当別町の牧場や畜産公社の牧場もあり又、非常にむずかし

い状況もある様だが、担当の常任委員会や農業団体と力を合わせ、農民の要求に応える事が出来ないかお伺いしたい。

町長 一点目の金丸事件をどうとらえているかについて、一部企業と政治家の疑惑の姿が浮き彫りにされ、行政に携わる私達としては、嫌な感じ一杯であると共に地方公共団体に於ても自らの姿勢を正して、町政の執行に当り、町民の負託に応えなければならぬと考えている。

一党一派に偏しない自らの政治姿勢を振り返って何を得たかについて、私は昭和五十六年に多くの方々から御支持を頂き、無投票で初陣を飾らせて頂いてから、三期十二年この政治姿勢を通して頂いた事に感謝している。

町民にはいろいろの党派があり、町民の幸せにつながるものであれば、どの党からお話を伺いする事が、この小さな地方公共団体の首長の望ましい政治姿勢だと、感銘を深くしていると共に期待しているところである。残された任期をどんな姿勢

で臨むかについて、前段申し述べた政治姿勢で、任期まで精一杯努力して参りたい。

JR学園都市線に係る札幌市内の整備計画について、八軒からあいの里、教育大学の区間十一・九歳を複線化しようとするもので特に、八軒から大平までを鉄道の踏切での交通渋滞を解消する為、高架とする計画で、平成五年から平成十一年までの七カ年間の工事を予定していると伺っている。従って、本町としてもこの計画に遅れる事なく、JR北海道と協議を進めたいと考えており、特別委員会の設置については、議長と充分ご相談致し、設置時期を検討して参りたい。

町営牧場に雄馬を委託出来ないかについて、去勢前の雄馬を放牧する場合は、雌馬と相当の遠距離の牧区に放牧しなければ、雄馬の生理的現象により脱糞し、他の家畜に危害を与える事が予想され、牧場の管理場支障があると思われるが、今後、町有牧野運営委員会などと協議をし、可能性について検討して参りたい。

第二回定例会に議員提案として
提出され、満場一致で可決。
総理大臣ほか関係国会議員宛送付した。

北海道新幹線早期着工に 関する意見書

北海道新幹線は、北海道の産業の振興、道民生活の向上と国土の均衡ある発展を図る上で、欠くことのできない基幹施設であり、早期建設に寄せる道民の期待は極めて大きいものがある。

しかしながら北海道新幹線については、昭和四十八年、東北など他の四線とともに、整備計画路線として決定されているものの、未だ環境影響評価も実施されていない状況にある。

ついでには、二十四年の歳月と多額資金を投入し、新幹線規格で完成している青函トンネルの有効活用を図る意味からも、次の事項に十分配慮のうえ、北海道新幹線（青森・札幌間）の早期建設に着手するよう、強く要望する。

- 一、平成五年のいわゆる基本スキームの見直し時には、在来線の切り捨ては行わず在来線とむすびついたネットワークとして、北海道新幹線（青森・札幌間）の着工を明記されたい。
- 二、北海道新幹線の建設に当たっては、国の財政事情等から止むを得ず暫定的な整備によることとなる場合でも、整備計画に配慮し、可能な限り新線を建設されたい。
- 三、本格着工された東北新幹線（盛岡・青森間）の早期完成を図られたい。
- 四、東北新幹線の青森開業時における函館までの同時開業を図られたい。
- 五、公共事業費の枠拡大、鉄道整備基金の充実など建設財源の確保を図られたい。

上記、地方自治法第九十九条第二項の規定により提出する。

平成五年三月十九日

北海道当別町議会

議会のうごき

- | | |
|------|--|
| 2・26 | 管内議会事務局職員研修会 |
| 3・2 | 白糠町議会来町建設常任委員会 |
| 3・3 | 総務常任委員会 |
| 3・4 | 文教厚生常任委員会 |
| 3・5 | 産業常任委員会 |
| 3・6 | 議会運営委員会 |
| 3・8 | 例月出納検査 |
| 3・10 | 第二回定例会 |
| 4・3 | 北海道新幹線早期着工実現札幌圏総決起大会 |
| 4・5 | 元当別町議会議員クラブ総会 |
| 4・7 | 管内町村議会事務局長会総会 |
| 4・8 | 例月出納検査 |
| 4・20 | 当別町監査委員町有施設調査 |
| 4・26 | 道々滝川・浜益線国道昇格促進期成会総会（札幌市） |
| 5・13 | 議会広報特別委員会北海道新幹線早期着工実現総決起大会並びに自由民主党に対する要請大会 |

- | | |
|------|----------------|
| 5・14 | 元当別町議会議員クラブ研修会 |
| 5・17 | 例月出納検査 |
| 5・19 | 管内町村監査委員事務局長会議 |
| 5・24 | 第三回臨時会 |
| 5・26 | 議会広報特別委員会 |
| 5・28 | 総務常任委員会 |
| | 文教厚生常任委員会 |

あとがき

おだやかな春の訪れと共に三月定例会が三月十日から開会され、平成五年度予算総額百五十五億七千九百万円（特別会計含む）が議決されました。対前年比一〇・四％の伸率で、主な建設事業として、当別駅舎橋上化、自由通路設置事業、西当別小学校校舎増築事業、春日団地建替工事、用地購入事業などが計上されており、

が、紙面の都合等その意を十分に反映出来なかった事を反省しながらも、議会だよりを通じ、皆様方の町政に参画する一助になったものと信じています。皆様のご愛読と本紙配布にご協力下さった方々に感謝申し上げます。

- 議会広報特別委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮本 勝 |
| 副委員長 | 田畑富美男 |
| 委員 | 島田 春雄 |
| | 谷保 茂一 |
| | 保谷 幸男 |
| | 安栄 昭治 |
| | 前沢 昭治 |
| | 熊谷 一哉 |